

アンケート調査結果（主な内容の抜粋）

1. 調査の概要

市内のバリアフリー対策を推進するにあたり、施設の利用状況やバリアフリーに関する意識を把握するためのアンケート調査を実施しました。

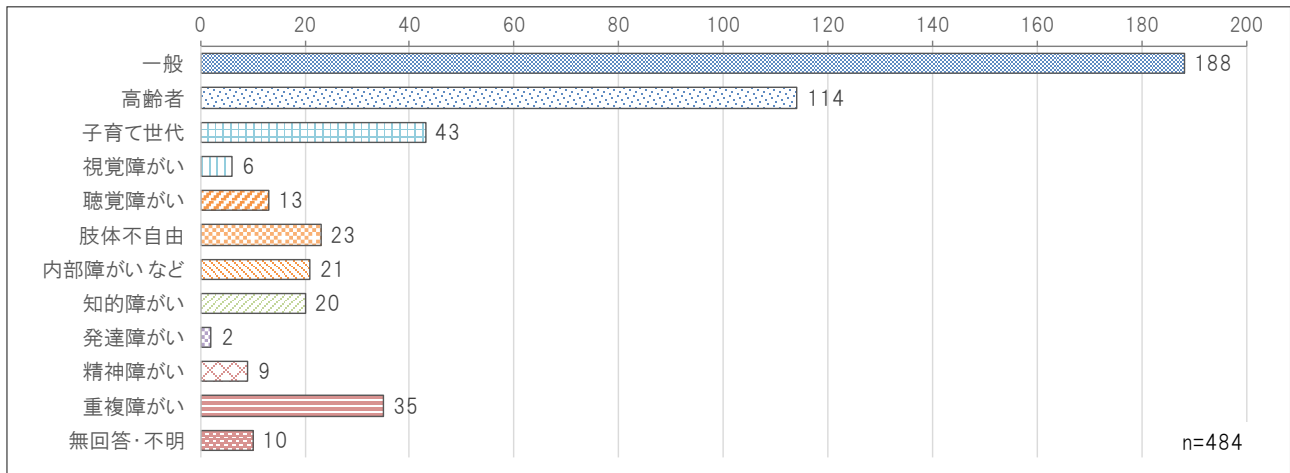
表 アンケート調査の概要

対象者	◆ 一般市民 住民基本台帳よりランダム抽出	◆ 関係団体 障がい者支援団体・高齢者団体・子育て支援団体・乳幼児健診参加者
配付	郵送配付・郵送回収：1,000票	団体配付・団体または郵送回収：300票
回収	484票（回収率 37.2%）	
	300票（回収率 30.0%）	184票（回収率 61.3%）
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・個人属性・主要な交通手段、よく利用する施設・経路・駅・バス・タクシー・道路などのバリアフリー状況への満足度・移動や施設の利用時の困りごと・避難場所の認知度、災害時のバリアフリー上の不安、災害時への対策・心のバリアフリーの認知度、意識、行動、施策、意見・情報のバリアフリー・バリアフリーマップの認知度・公共サインの満足度・困りごと・その他自由意見	

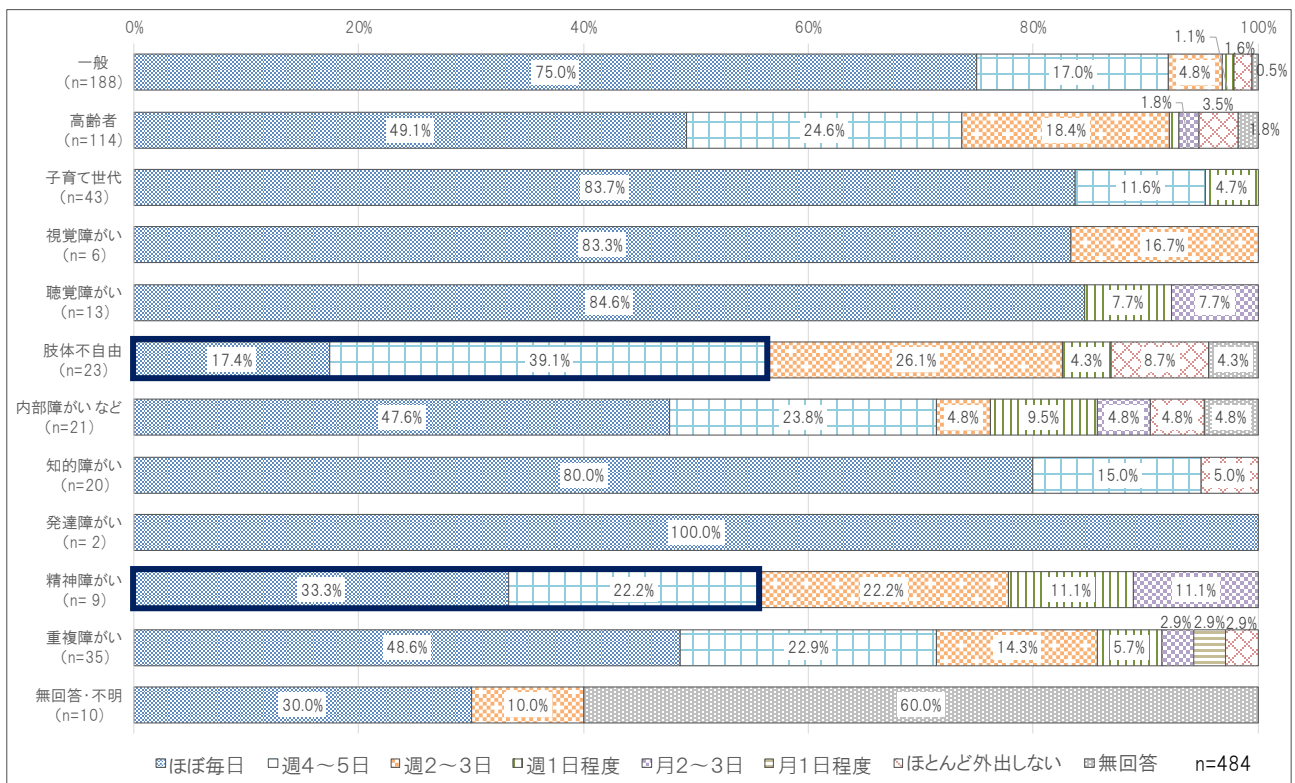
2. 調査結果(抜粋)

設問1 ご自身のことについて

1) あなたもしくは同居者の属性/障がい等の種類を教えてください。



2) どのくらいの頻度で外出しますか。

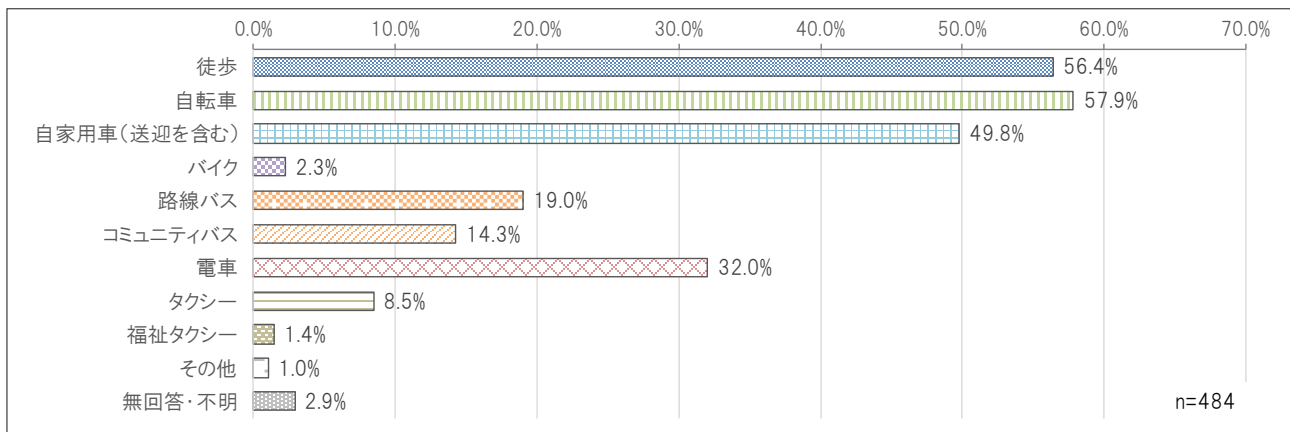


回答の傾向

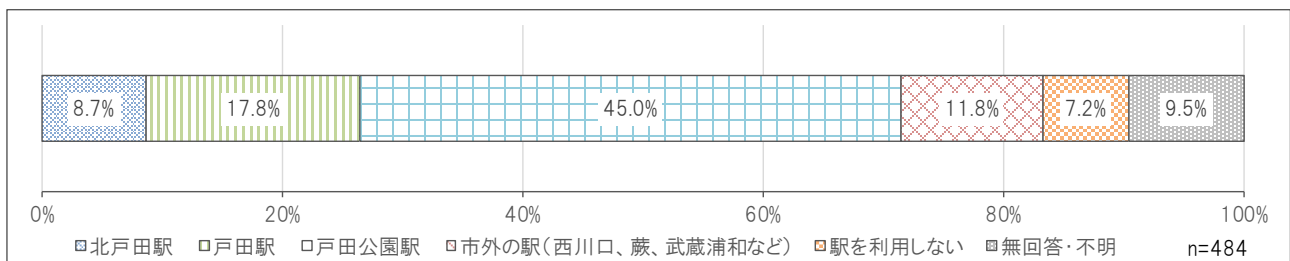
- 回答者は、一般の方（他の属性に当てはまらない方）が約4割、障がい者が約3割、高齢者が約2割、子育て世代が約1割。
- 全ての属性で外出頻度は高いが、肢体不自由者と精神障がい者では週4日以上外出している方は6割以下である。

設問2 市内での移動手段や利用する施設について

1) 日頃、よく利用している交通手段を教えてください。(複数回答)



2) 日頃、最も利用する駅を教えてください。

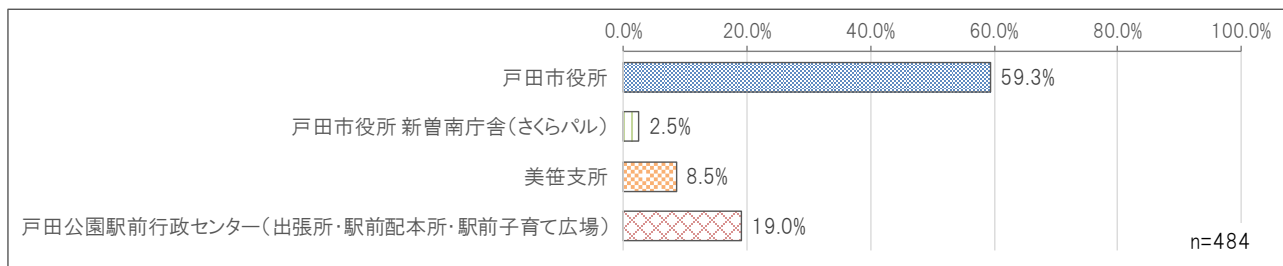


回答の傾向

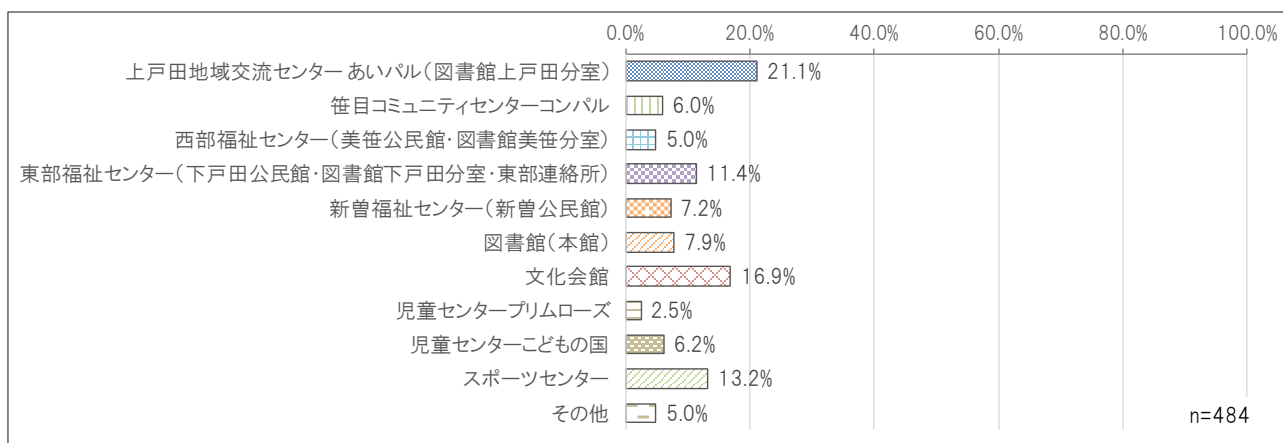
- 回答者の約6割程度が徒歩・自転車、約3割が鉄道、2割が路線バスを利用している。
- 回答者の約5割が戸田公園駅、約2割が戸田駅を最も日常的に利用している。

3) 日常的に利用する施設名を教えてください。(それぞれ3つまで〇)

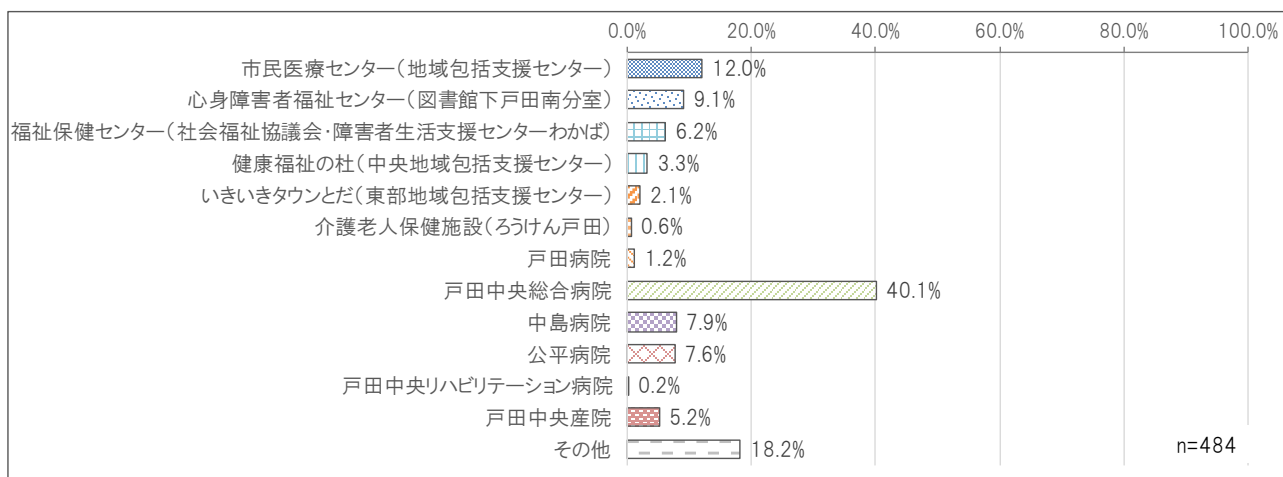
■ 公共施設：市役所・支所（窓口）



■ 公共施設：文化・教養・スポーツ施設



■ 医療・福祉施設

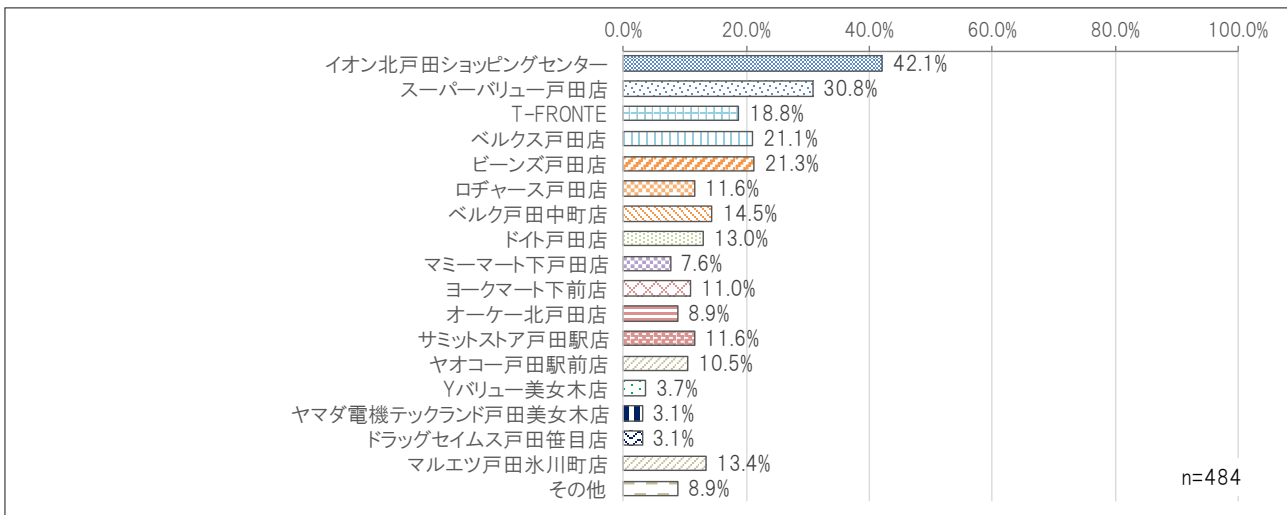


■ 障がい別に見たよく利用されている施設（公共施設、医療・福祉施設）

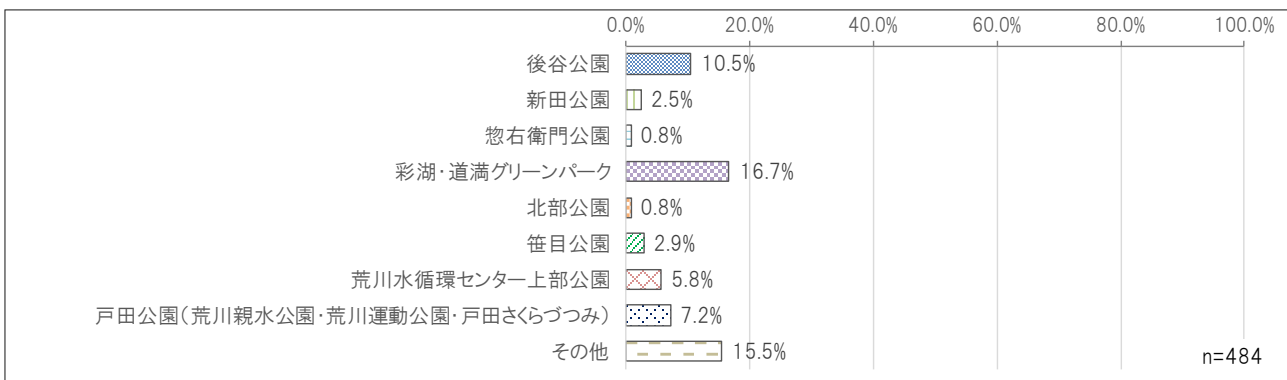
	戸田市役所	戸田公園駅前行政センター	上戸田地域交流センター あいパル	文化会館	市民医療センター	心身障害者福祉センター	戸田中央総合病院
一般 (n=188)	59.0%	23.9%	17.6%	15.4%	9.0%	5.3%	38.3%
高齢者 (n=114)	59.6%	14.9%	19.3%	21.1%	13.2%	1.8%	43.0%
子育て世代 (n=43)	51.2%	32.6%	37.2%	2.3%	16.3%	9.3%	27.9%
視覚障がい (n=6)	83.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	50.0%
聴覚障がい (n=13)	69.2%	30.8%	46.2%	0.0%	0.0%	53.8%	53.8%
肢体不自由 (n=23)	52.2%	17.4%	8.7%	26.1%	21.7%	30.4%	52.2%
内部障がいなど (n=21)	47.6%	4.8%	9.5%	23.8%	9.5%	4.8%	61.9%
知的障がい (n=20)	70.0%	10.0%	30.0%	30.0%	15.0%	20.0%	30.0%
発達障がい (n=2)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
精神障がい (n=9)	88.9%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%
重複障がい (n=35)	68.6%	11.4%	25.7%	20.0%	14.3%	14.3%	48.6%
無回答・不明 (n=10)	30.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%
全体の割合	59.3%	19.0%	21.1%	16.9%	12.0%	9.1%	40.1%

※赤色セル：全体の割合より利用率が5%以上高いもの

■ 商業施設



■ 公園



■ 障がい別に見たよく利用されている施設（商業施設、公園）

	イオン北戸田 ショッピングセンター	スーパーバリュー 戸田店	T-FRONTE	ベルクス戸田店	ビーンズ戸田店	彩湖・道満 グリーンパーク	荒川水循環センター 上部公園
一般 (n=188)	46.8%	35.1%	21.3%	20.2%	27.7%	18.6%	2.7%
高齢者 (n=114)	39.5%	33.3%	9.6%	22.8%	14.0%	14.9%	8.8%
子育て世代 (n=43)	48.8%	39.5%	39.5%	23.3%	34.9%	25.6%	14.0%
視覚障がい (n=6)	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%
聴覚障がい (n=13)	7.7%	30.8%	15.4%	46.2%	38.5%	7.7%	7.7%
肢体不自由 (n=23)	39.1%	17.4%	4.3%	30.4%	4.3%	8.7%	4.3%
内部障がいなど (n=21)	28.6%	14.3%	4.8%	4.8%	9.5%	19.0%	4.8%
知的障がい (n=20)	45.0%	20.0%	15.0%	20.0%	20.0%	15.0%	5.0%
発達障がい (n=2)	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
精神障がい (n=9)	33.3%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
重複障がい (n=35)	45.7%	25.7%	31.4%	11.4%	17.1%	20.0%	2.9%
無回答・不明 (n=10)	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体の割合	42.1%	30.8%	18.8%	21.1%	21.3%	16.7%	5.8%

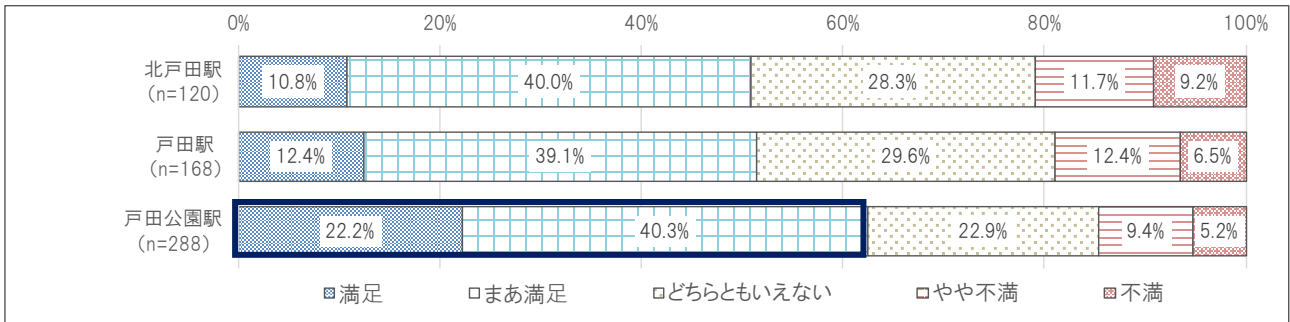
※赤色セル：全体の割合より利用率が5%以上高いもの

回答の傾向

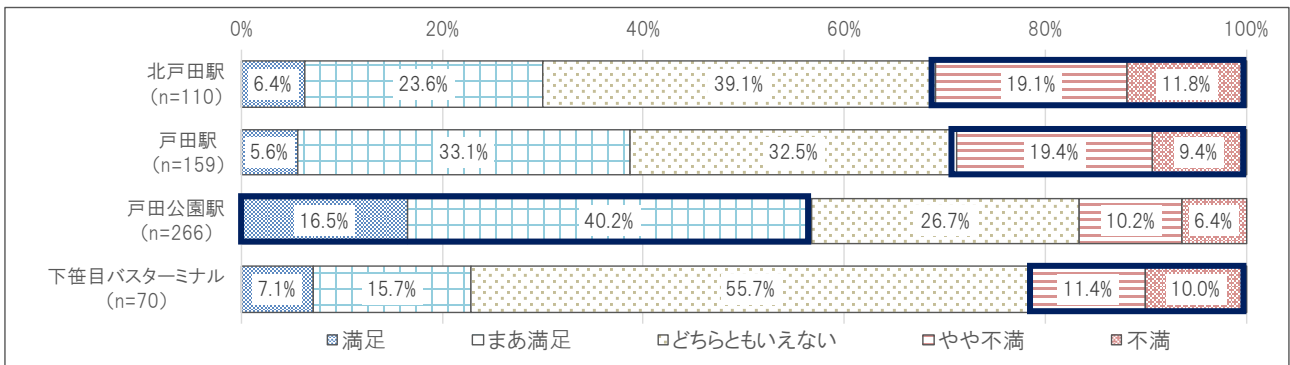
- ・回答者の約4割以上が利用している施設は、市役所・戸田中央総合病院・イオン北戸田ショッピングセンター。
- ・回答者の約2割が利用している施設は、戸田公園駅前行政センター・上戸田地域交流センターあいパル・文化会館・スーパーバリュー戸田店・T-FRONTE・ベルクス戸田店・ビーンズ戸田店・彩湖・道満グリーンパーク。
- ・日常的に利用されている施設は、市役所や大型の商業施設・病院・公園が多い。市役所・心身障害者福祉センター・戸田中央総合病院では、特に障がい者の利用割合が一般の利用者より高い傾向がある。

設問3 市内のバリアフリー状況に関する満足度について（無回答・不明を除いて集計）

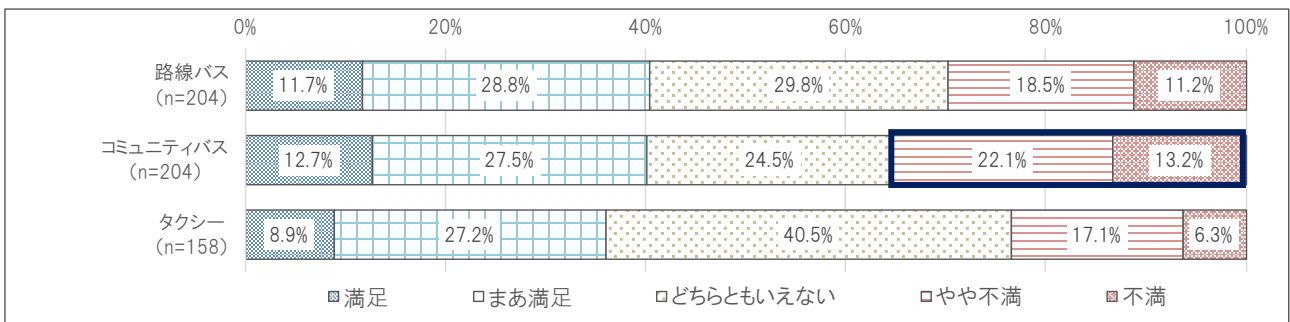
■ 鉄道駅



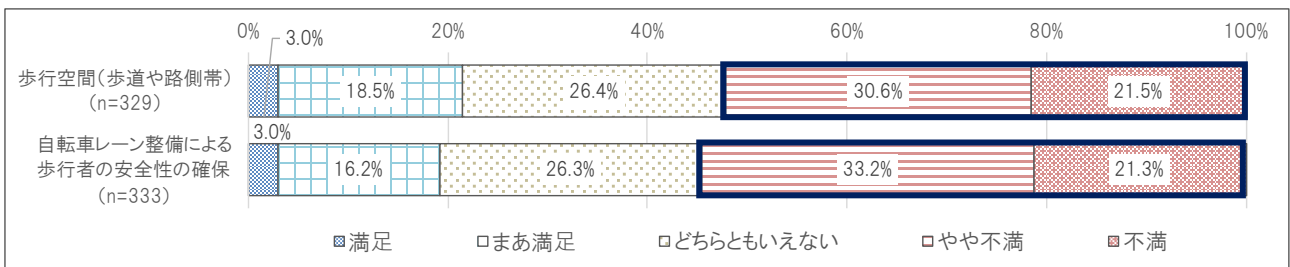
■ 駅前広場等（バス停・タクシー・乗降場なども含む）



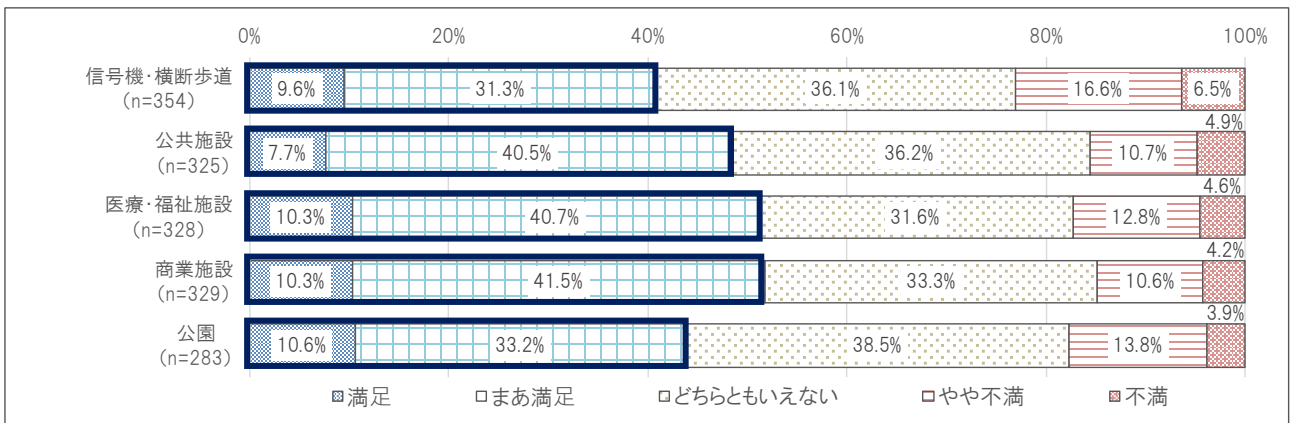
■ 車両



■ 道路



■ 信号機・横断歩道、建築物、公園



回答の傾向

- 戸田公園駅は駅前広場も含めて約 6 割と満足度が高いが、北戸田駅駅前広場・戸田駅駅前広場・下笹目バスターミナルの満足度は2割～3割と満足度が低い。
- 車両は、全体的に約 4 割は満足しているが、コミュニティバスについては約 4 割が不満を感じている。
- 道路は回答者の約半数以上が不満を感じている。
- 建築物は約 5 割、信号機・横断歩道、公園については約 4 割が満足と感じている。

設問4 市内のバリアフリーの課題について

■ 移動や施設を利用する際にバリアフリーの視点から困りごとがあれば教えてください。

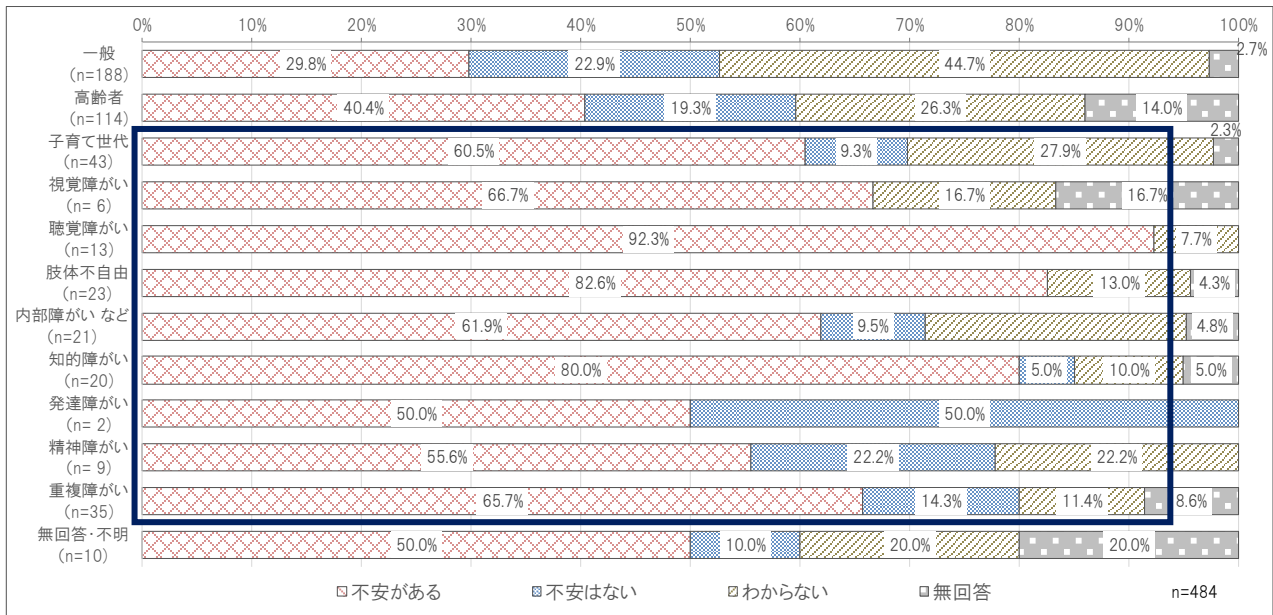
項目	主な意見
鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> ホームドアが未整備のため、設置してほしい。 戸田公園駅の拡幅改札口が1か所のみのため、混雑時にベビーカーが利用できないことが多い。一般改札では狭くてぶつかってしまう。 戸田駅に下りエスカレーターがなく不便である。 エレベーターが狭い。台数が少ない。 文字情報が少なく、遅延や事故等の緊急情報がわからない。
駅前広場・バスターミナル	<ul style="list-style-type: none"> 全ての駅前で段差が多く、歩道が狭いところがある。 鉄道駅からバス乗降場やタクシー乗降場に向かうまでに屋根がない。 車椅子利用者専用のトイレがない。 休憩用のベンチが少ない。
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ノンステップバスは乗降しやすいが、ノンステップバスでない車両がある。 ベビーカーを畳みながら子どもと一緒に乗車しにくく、バス利用が不便。 乗降口の幅が狭く、ベビーカーが入れにくい。
コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> 出入口の段差をなくしてほしい。 車内が狭いため、車椅子やベビーカーでの利用がしにくい。 ベビーカーで乗降する際、ベビーカーを畳んでから子どもを乗降させるため、サポートがほしい。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> UDタクシーが少ない。一般的な車両では高齢者の乗降が大変である。 運転手の対応に差がある。
道路 (歩道、路側帯、自転車レーン等)	<ul style="list-style-type: none"> 歩道が狭い。 歩道の段差や傾斜が多く、車椅子やベビーカーで通行する際にがたつき、つまずいてしまう。 自転車レーンの利用マナーが悪い。レーン上に停車している車が多い。
信号機・横断歩道	<ul style="list-style-type: none"> 音響式信号機が少ない(特に大きな道路)。 横断歩道と歩道に段差があり、車椅子やベビーカーでつまずくことがある。
建築物 (公共施設、医療・福祉施設、商業施設)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校にエレベーターがない。 エレベーターが混雑しており、車椅子やベビーカーで利用する際に待ち時間が長い。 緊急情報に関する視覚的情報がない。 おむつ交換台だけでなく、大人用のベッドを設置してほしい。
駐車場 (一時利用)	<ul style="list-style-type: none"> 駐車ますの幅員や奥行きが狭い。 障がい者専用駐車ますに一般利用者が駐車しており、利用できない。 屋外駐車場の場合、障がい者専用駐車場には屋根をつけてほしい。
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> 出入口が狭い公園がある。 トイレは洋式でないと高齢者や障がい者が利用しにくい。 障がい者専用駐車場を整備してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に安全に避難・生活できるための対策をしてほしい。 車椅子使用者が1人で利用できる施設などが少ない。 スーパーのレジが自動化されてから使いにくい。

回答の傾向

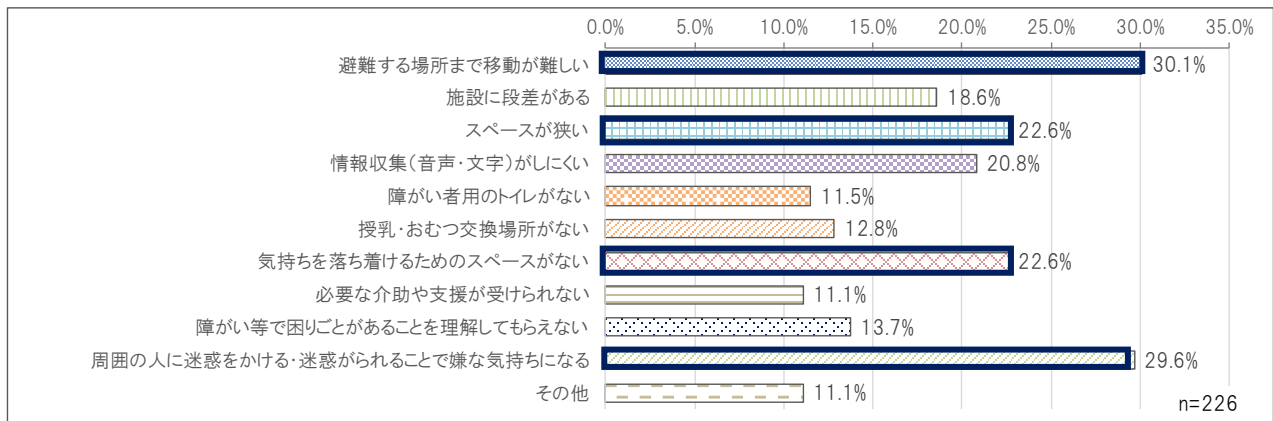
- 子育て世代は、バス乗降時の負担から利用を躊躇する傾向がある。車椅子使用者と同様に、サポートを求める声がある。
- 歩道が狭く、傾斜や凸凹による移動の不便さが、道路における不満が高い要因になっている。

設問5 災害時のバリアフリーについて

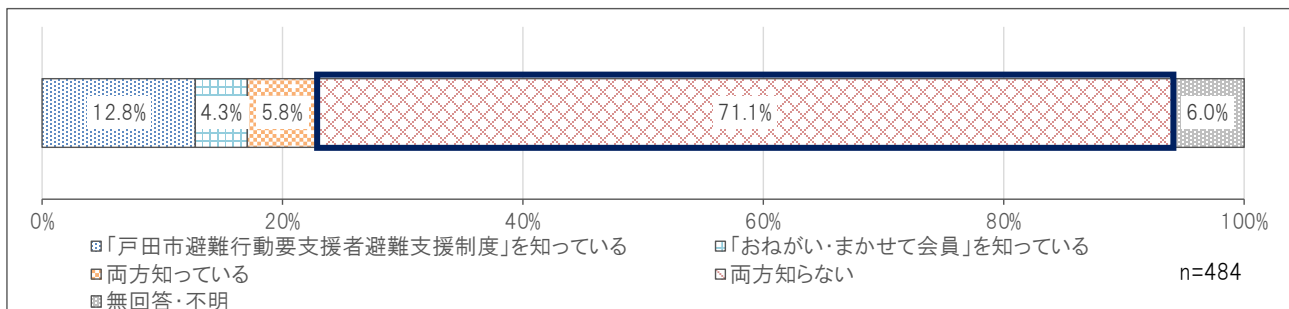
1) 災害時に避難する際、移動や避難所での生活について、バリアフリー上の不安はありますか。



2) 1) で「不安がある」とお答えの方は、どのような点が不安か教えてください。



3) 災害時にひとりで避難行動をとることが難しい人を支援する「戸田市避難行動要支援者避難支援制度」または「おねがい・まかせて会員」の仕組みを知っていますか。

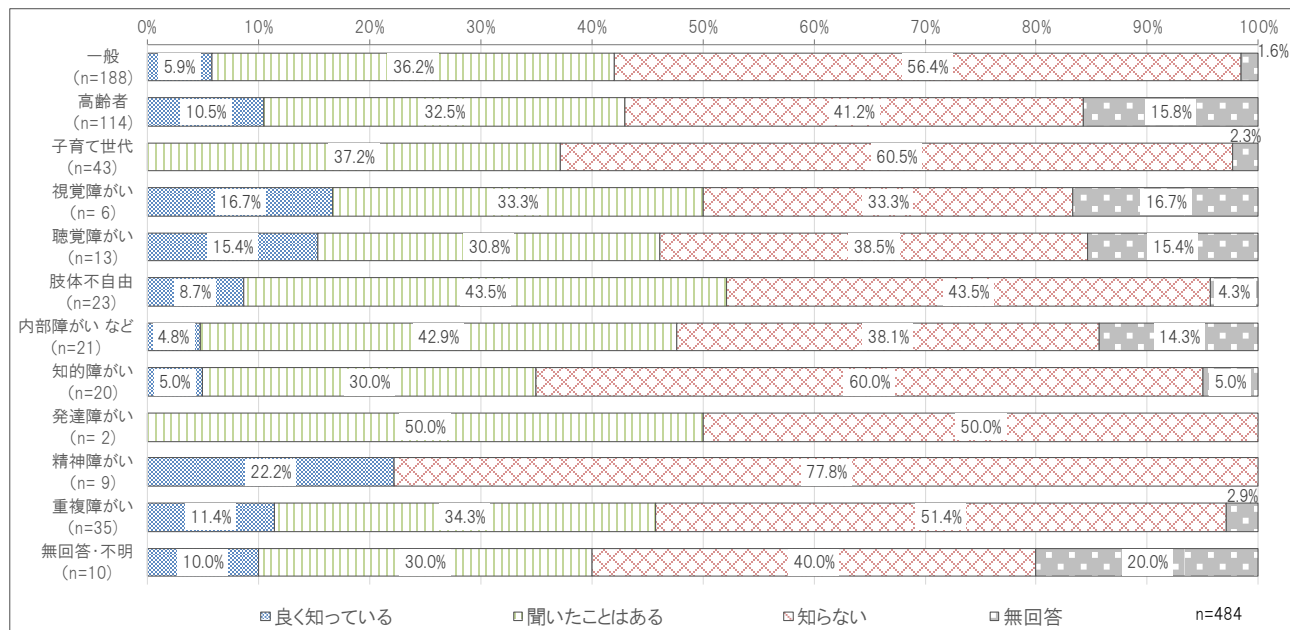


回答の傾向

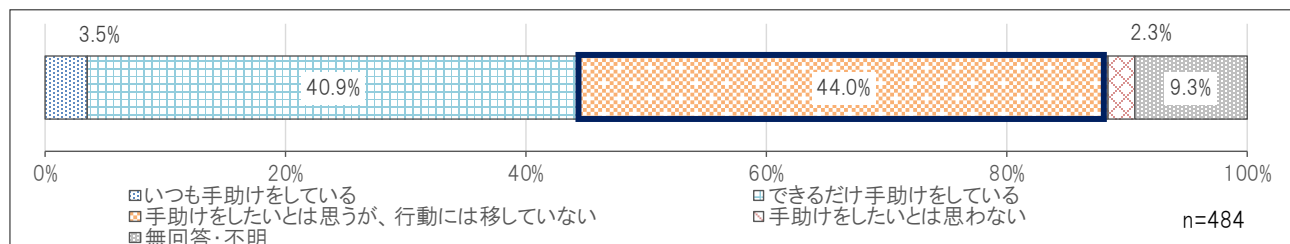
- ・ 子育て世代・障がい者の半数以上が災害時の避難に不安を感じている。
- ・ 主な不安点は、避難場所までの移動や避難場所のスペース、周囲の人との関係である。
- ・ 災害時の市民共助に関する仕組みについては、約7割の方が認知していない。

設問6 心のバリアフリーについて

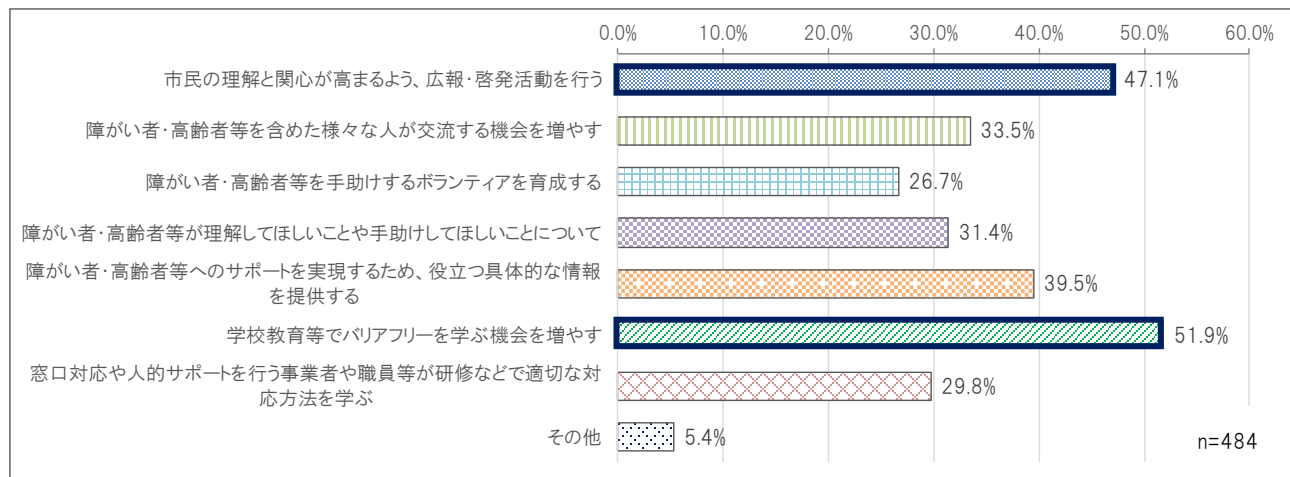
1) 「心のバリアフリー」について知っていますか。



2) あなたは、外出の際、車椅子の方が段差で進めなくなっていたり、視覚障がいを持っている方が駅で迷っていたりした場合、声をかけて手助けをしていますか。



3) あなたは「心のバリアフリー」を実現していくために、これからどのようなことが必要だと思いますか。(該当するものに○)

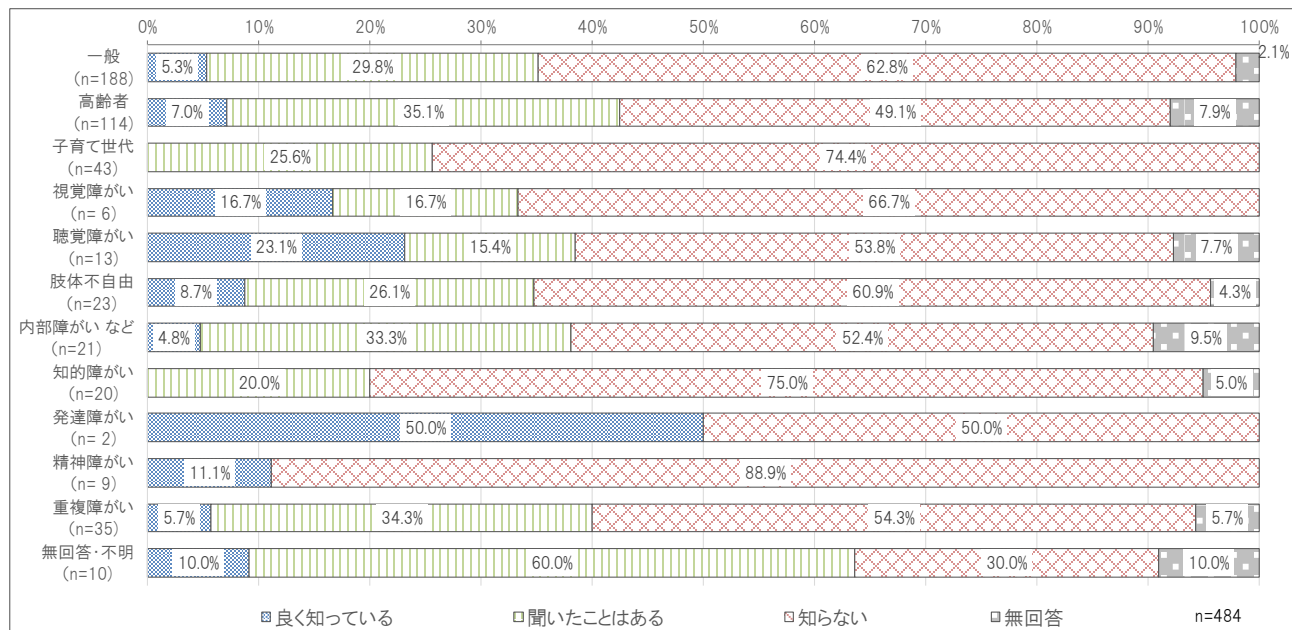


回答の傾向

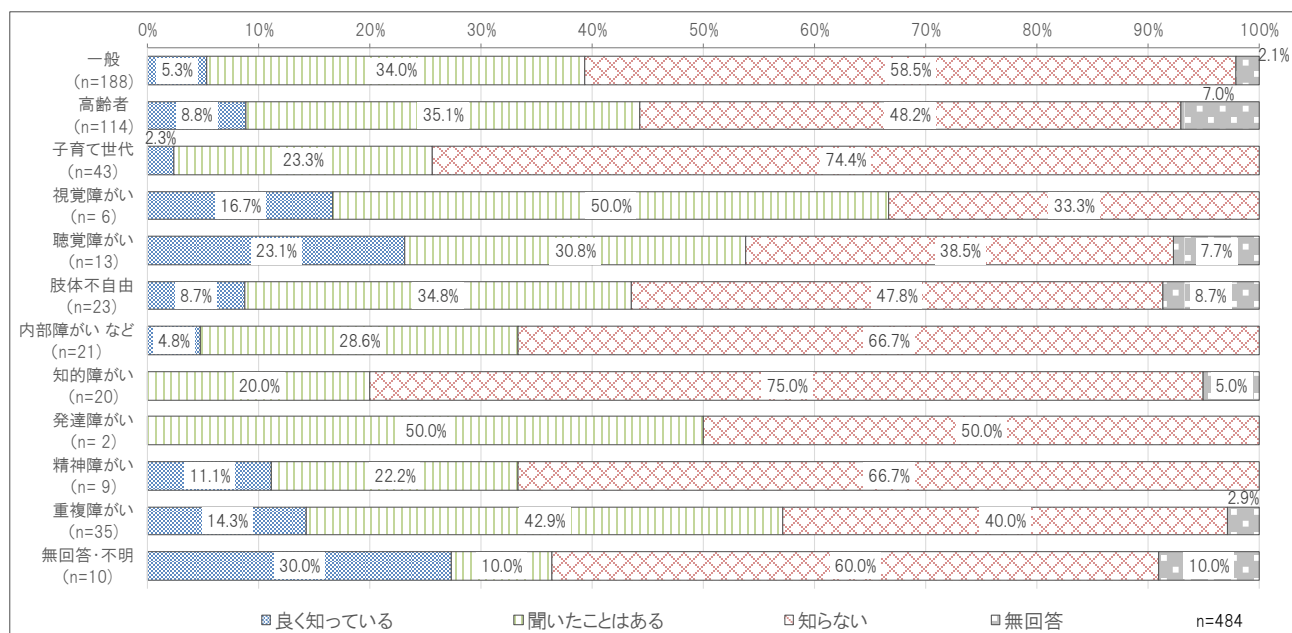
- 「心のバリアフリー」は、よく知っている方は全体の1割以下と認知度が低い。
- 回答者のうち約4割が障がい者などへできるだけ手助けをしているが、反対に手助けができていない方も約4割。
- 心のバリアフリーを実現するために必要と思われることは、「広報・啓発活動」や「学校教育等の学ぶ機会を増やす」が約5割。

設問7 情報のバリアフリーについて

1) 「情報のバリアフリー」について知っていますか。



2) バリアフリーマップについて知っていますか。



回答の傾向

- 全体的に「情報のバリアフリー」や「バリアフリーマップ」の認知度は低い傾向にあるが、視覚障がい者や聴覚障がい者、重複障がい者は半数以上がバリアフリーマップを認知している。

自由意見

- 実際に自分や両親等が障がいを持って、初めて不便さに気付いた。歩道の段差や傾斜など、安心して生活できるまちなしてほしい。
- 障がい者や高齢者、こども連れなど、困っている方への手助けができる人とつながれる活動があると良い。共生社会として必要と考える。